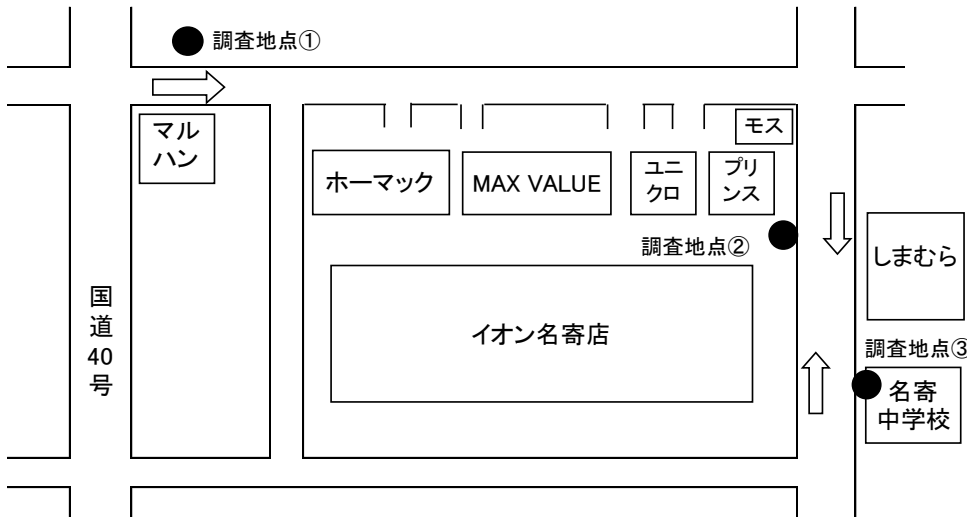


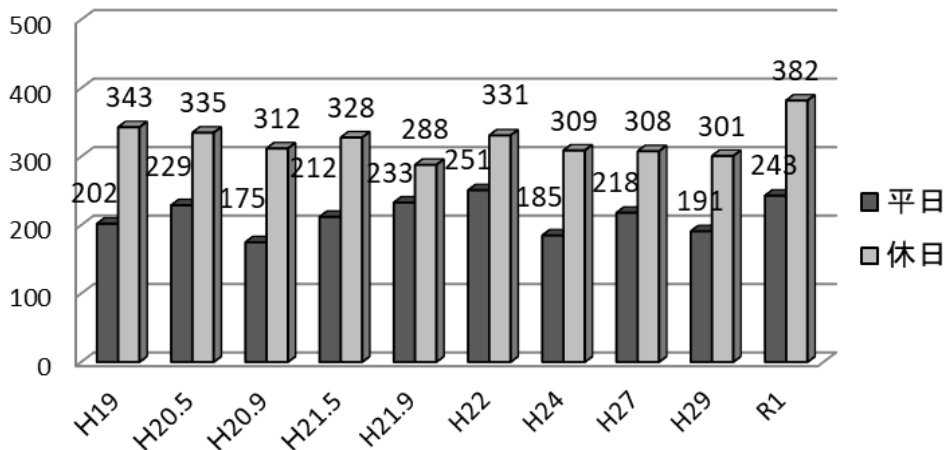
交通量調査実施報告

～平成19年からの比較～

徳田SC付近(①～③)

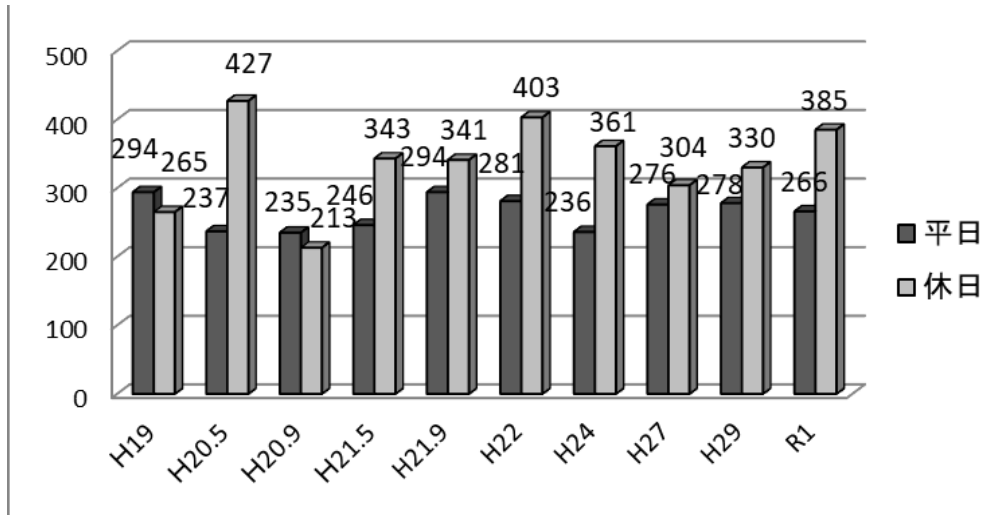


マルハン前(車輛)

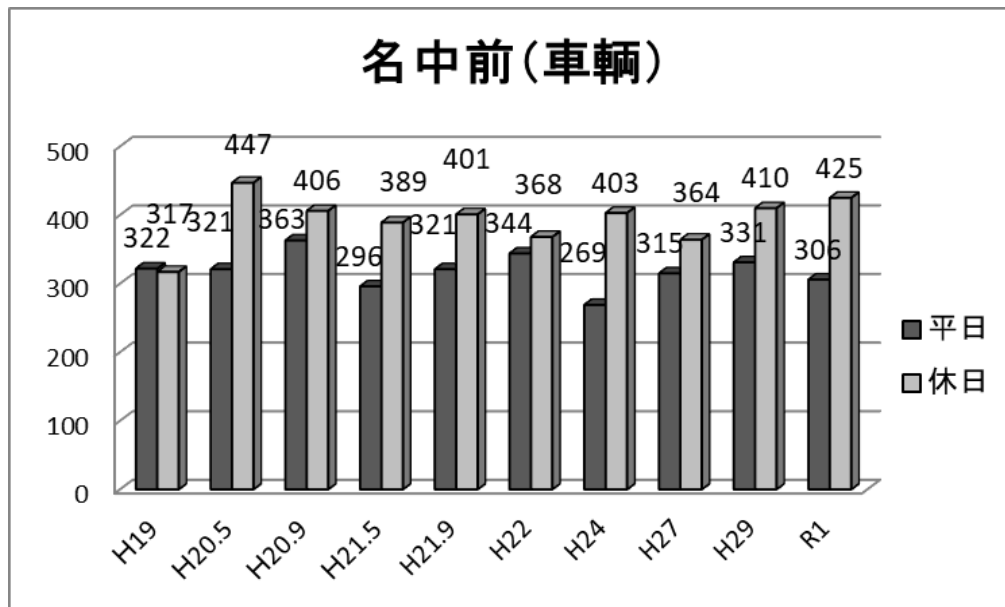


平日休日ともに安定して交通量が多い。例年の市内中心部交通量と比較すると約2～3倍の差が生じている。平成24年は車輛備品会社がオープンしたが、今までの交通量との差は見られない。

農業共済前(車輛)



平成20年5月調査時の休日の交通量は、大型店出店に伴い急激に増加しているものの同年9月調査時には出店前と変わらなくなった。平成21年より再び増加傾向にあり市外方面からの交通量が増加したことが分かる。



郊外の調査地点の中で一番交通量が多く、中心部から郊外への主要道路となっている。大型店開店以降の休日に関しては多く利用しており郊外や市外方面への買い物が多くなってきていることが伺える。

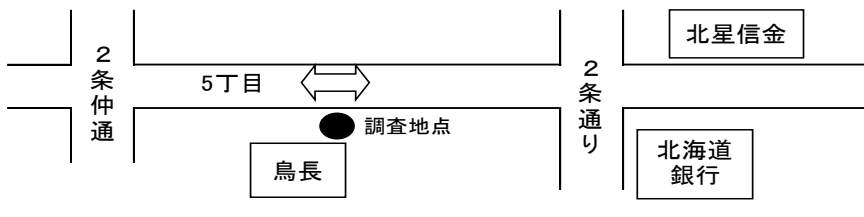
交通量調査実施報告

～平成19年からの比較～

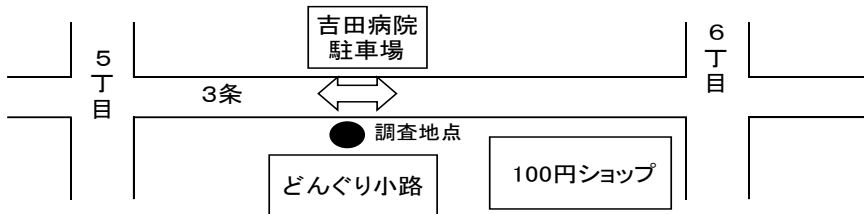
市内中心部(6丁目)



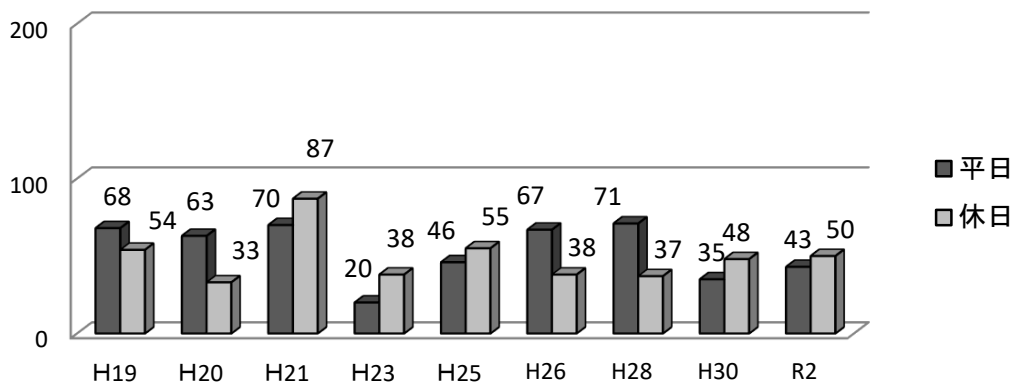
市内中心部(5丁目)



市内中心部(3条通)

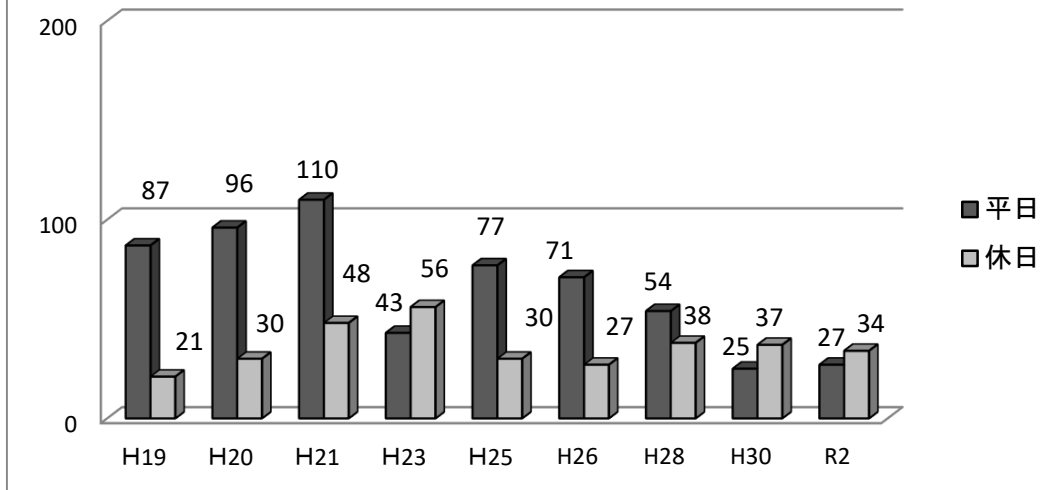


6丁目通り(歩行者)



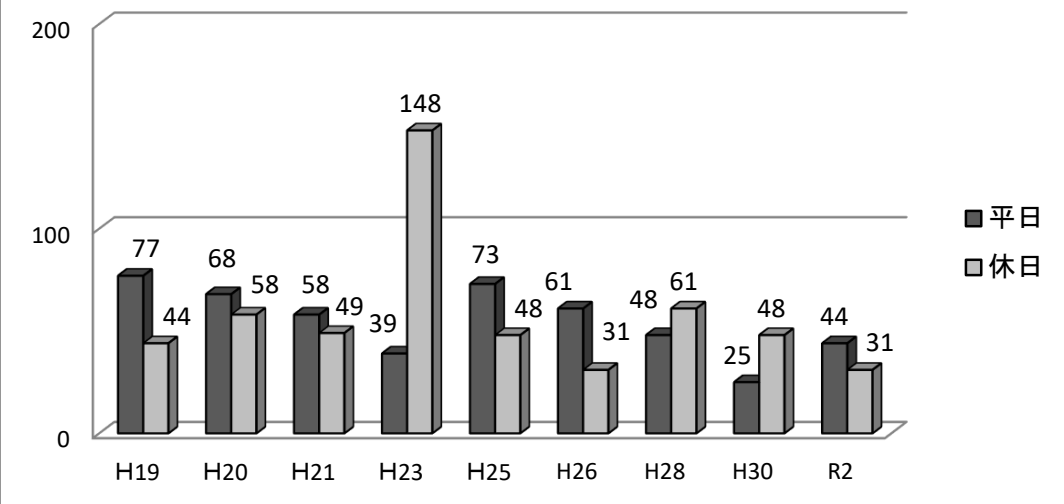
平日の歩行者数については平成21年まで大きな変化はなかったが、平成23年は豪雨の為大幅に減少したと考えられる。それ以降増加傾向にあり、要因としては北洋銀行が移転し、駅前通を利用し主要道路

5丁目通り(歩行者)



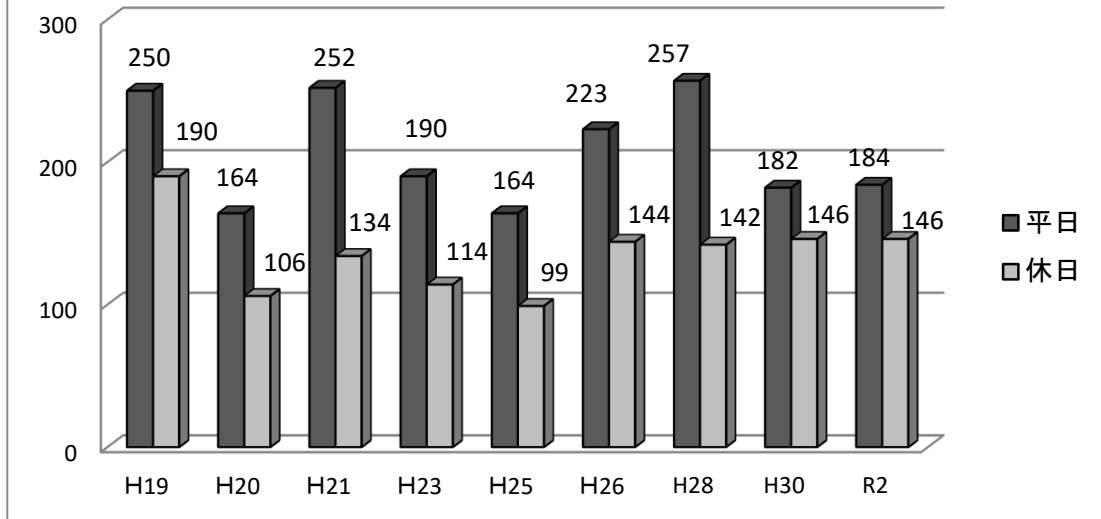
例年の平日では、調査付近に金融機関が多いことにより歩行者が多いが、休日には金融機関が休みのため、歩行者の数も平日と比較し半分以下に激減している。
平成30年以降平日の歩行者が減っている。ネットバンキングの普及で金融機関への来店が減っていることが一因と考えられる。

3条通り(歩行者)



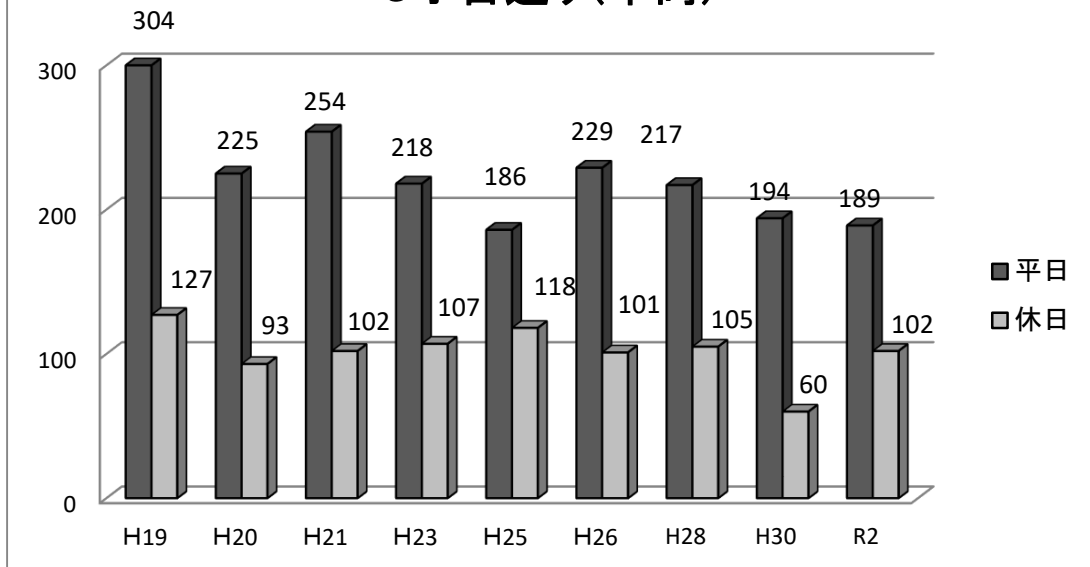
中心部の3条通りでは平成26年までは、若干だが平日が上回っており、金融機関の影響と思われる。
平成23年休日では、3条どんぐり小路で「もみじ祭り」が開催されたことに伴い、ダイソー前で調査を行ったが、イベントの影響により大幅に増加している。

6丁目通り(車両)



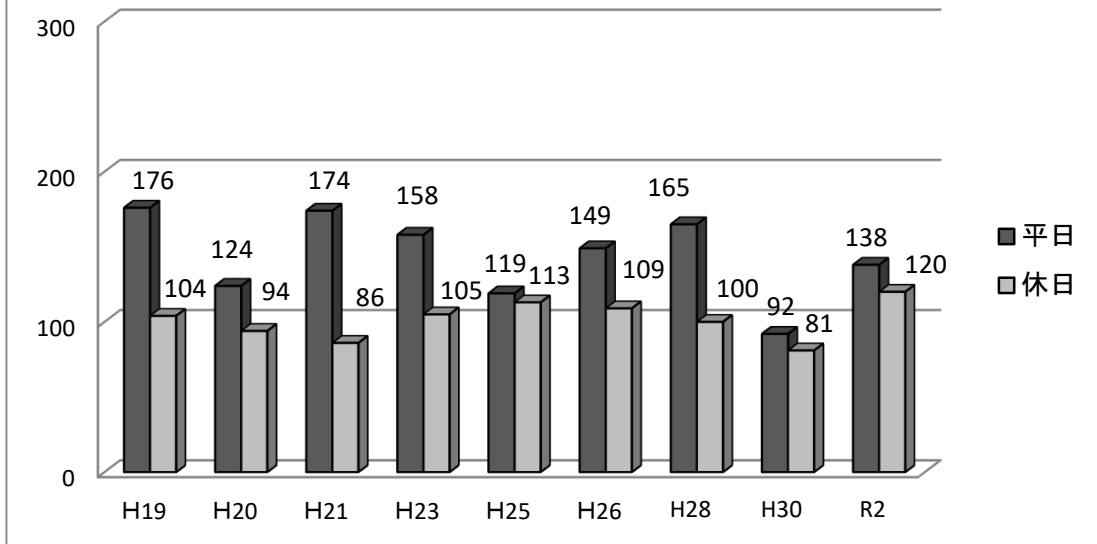
休日の交通量はあまり変化は見られず、ほぼ横ばいとなっており、平日の交通量も平成30年以降大きな変化はない。

5丁目通り(車両)



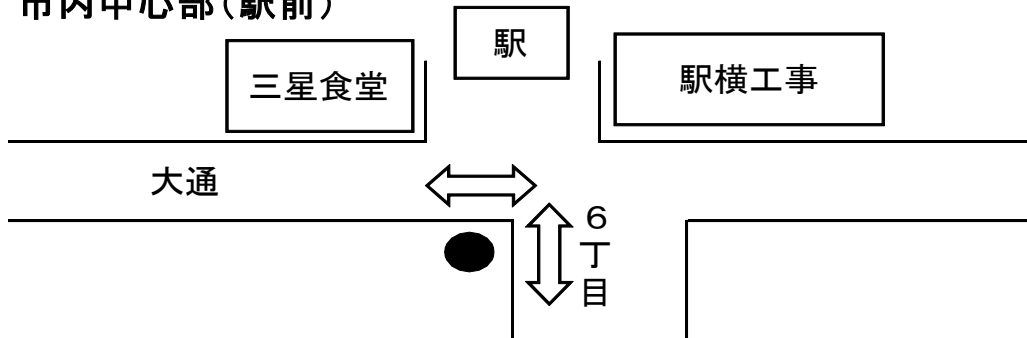
平日に関しては金融機関が調査地点付近にあるため交通量が多いものの、年々減少傾向にある。
平成28年までの休日の数値を見る限りでは大きな変化はなく、平成30年では若干の減少がみられるも、令和2年には平均的な交通量に

3条通り(車両)



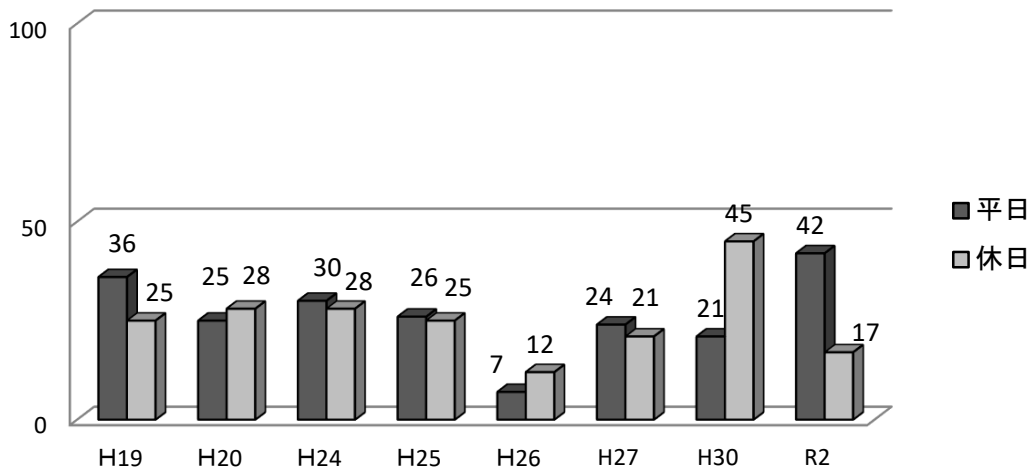
サバト家具店前の3条通りだけは、他の調査地点と比べ比較的交通量が少ないことが分かる。中心部に駐車場も少ないため、年々減少しており、徒歩もしくは自転車で移動している事が考えられるが、令和2年は回復傾向。新店舗も点在するため、流れが生まれたと考えられる。

市内中心部(駅前)



平成25年度駅横に複合交流施設「よろ一な」が開設、その中に名寄商工会議所事務所が移転。賑わい創出を目的に造られた施設であり、駅前の交通量について調査。

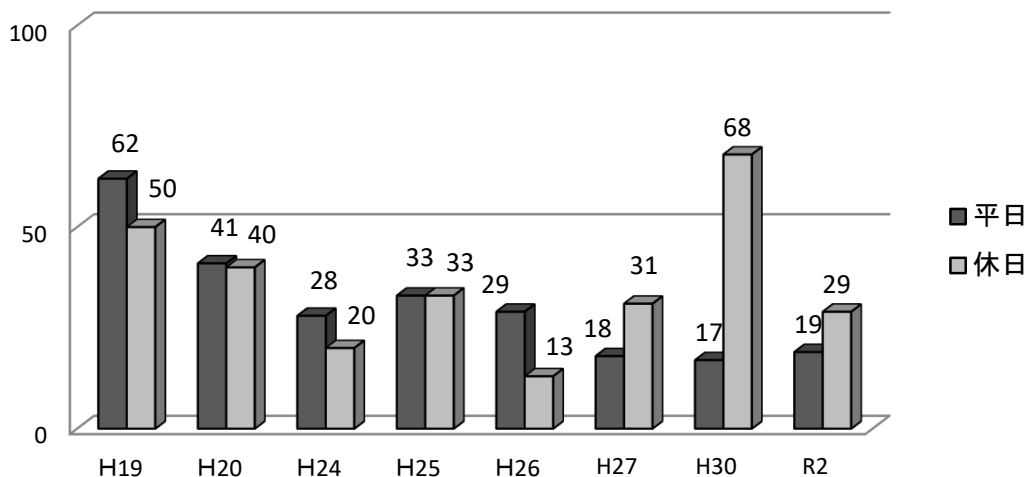
駅前(6丁目歩行者)



平成19年平日の歩行者数が多少多いものの、平成25年までは、平日及び休日ともに歩行者数は少ないながらも平均した歩行者数となっていたが、平成26年度は極端に減少した。同時間帯の喜信堂前では平日67人、休日38人となっているので、駅前までは来ていないことになる。

令和2年は前回調査と大きく異なり平日が増加し休日が減少している。JRの運行本数が減りバス需要が増えているため、平日の水準が上がったと考えられる。逆に新型コロナウイルス感染症拡大の影響で

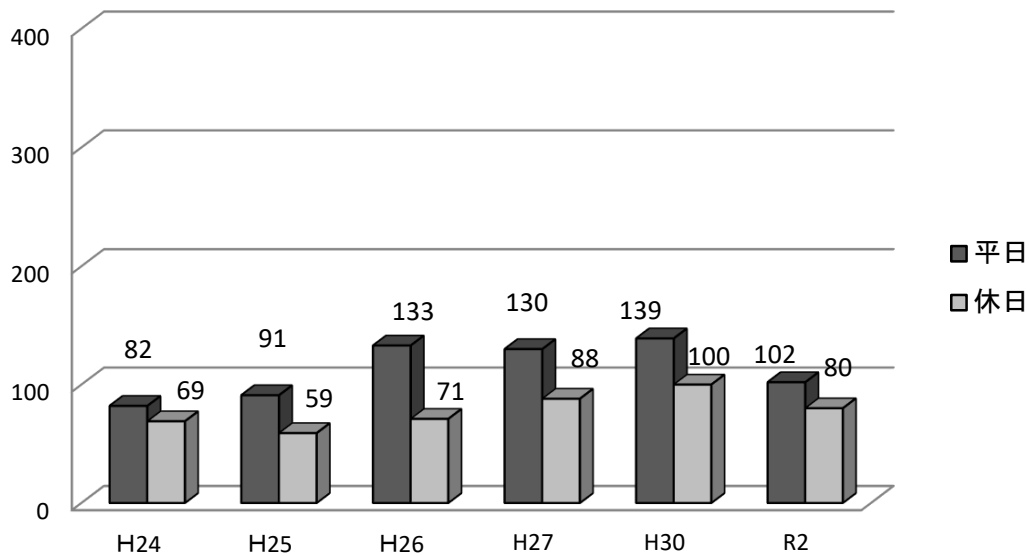
駅前(大通歩行者)



駅前の6丁目側と比較すると歩行者数は多い。平成24年～平成26年は歩行者数は減少していたが平成27年以降は増加傾向なり、平成30年は2倍の増加となっている。

令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、休日よろ一なでのイベント等がない為、休日の歩行者が減っていると思われる。

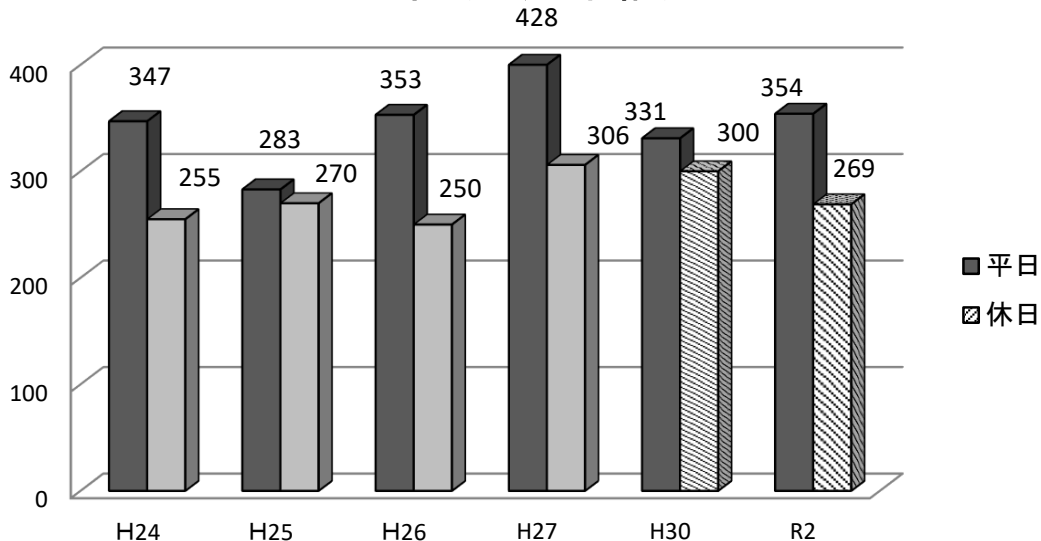
駅前(6丁目車輛)



6丁目側の車輛は平日・休日共に少なく、同じ6丁目の喜信堂前では駅前より交通量が増加していることから6丁目を通っても、駅前に抜ける車輛は少ないことが比較できる。

令和2年は平日・休日ともに減少している。

駅前(大通車輛)



平日・休日とも市内中心部より車輛の交通量は2倍以上多くの交通量は年々増加傾向にあったが、近年は大きな変化はない。

国道での調査は行ってはいないが、南北への移動に関しては、大通と国道及び昭和通の並行する3つの大きな道路が利用されている。